

2025年12月期 第3四半期 決算説明資料

GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社
証券コード：3788（東証プライム）

2025年Q3 エグゼクティブサマリー

- ① 当四半期は高い成長を達成し、通期計画に対する進捗は順調。
堅調な成長基調を維持。 P8 - P9
- ② 主力事業であるSSLサーバ証明書がグローバル市場を中心に急回復し、収益拡大に大きく寄与。 P8 - P9
- ③ 重点商材「電子印鑑GMOサイン」が引き続き好調に推移。
プラン改定を実施し、さらなる収益率向上を見込む。 P31 - P35

目次

01	2025年12月期 第3四半期実績	04
02	セキュリティTOPIC	10
03	価値成長を生む、当社の強み	17
04	事業概況	
	電子認証・印鑑事業	26
	クラウドインフラ事業	37
	DX事業	43



2025年12月期 第3四半期決算実績

2025年Q3 決算ハイライト

売上

海外の売上成長が電子認証事業を牽引

海外電子認証および重点商材の売上増加により、売上高は前期比**7.4%**増の**15,108**百万円

営業利益

電子認証事業の業績回復により増益

電子認証事業および重点商材の好調な業績により回復。営業利益は前期比**20.6%**増の**983**百万円

重点商材

高成長率を維持

電子印鑑GMOサイン、**33.9%**増。GMOトラスト・ログイン、**33.8%**増 ※売上対前期比

2025年Q3 決算サマリー[累計比較]

- 前期比、営業利益+20.6%、純利益+33.1%。Q3時点で順調な進捗。

(百万円)	2024年Q3実績	2025年Q3実績	前年同期比	2025年通期予想	進捗率
売上高	14,071	15,108	+7.4%	20,397	74.1%
営業利益	815	983	+20.6%	1,434	68.6%
経常利益	842	957	+13.6%	1,422	67.3%
親会社株式に帰属する 四半期純利益	528	703	+33.1%	880	79.9%
EBITDA※	1,392	1,551	+11.4%	-	-

※EBITDA：営業利益と減価償却費の合計値

2025年Q3 セグメント別四半期比較（累計）

- 電子認証事業は、海外の売上回復
- 重点商材（電子契約・ログイン認証強化サービス）は販売好調を継続
- クラウドインフラ事業は、CloudCREW byGMOの売上成長およびコスト抑制により増収増益

売上高

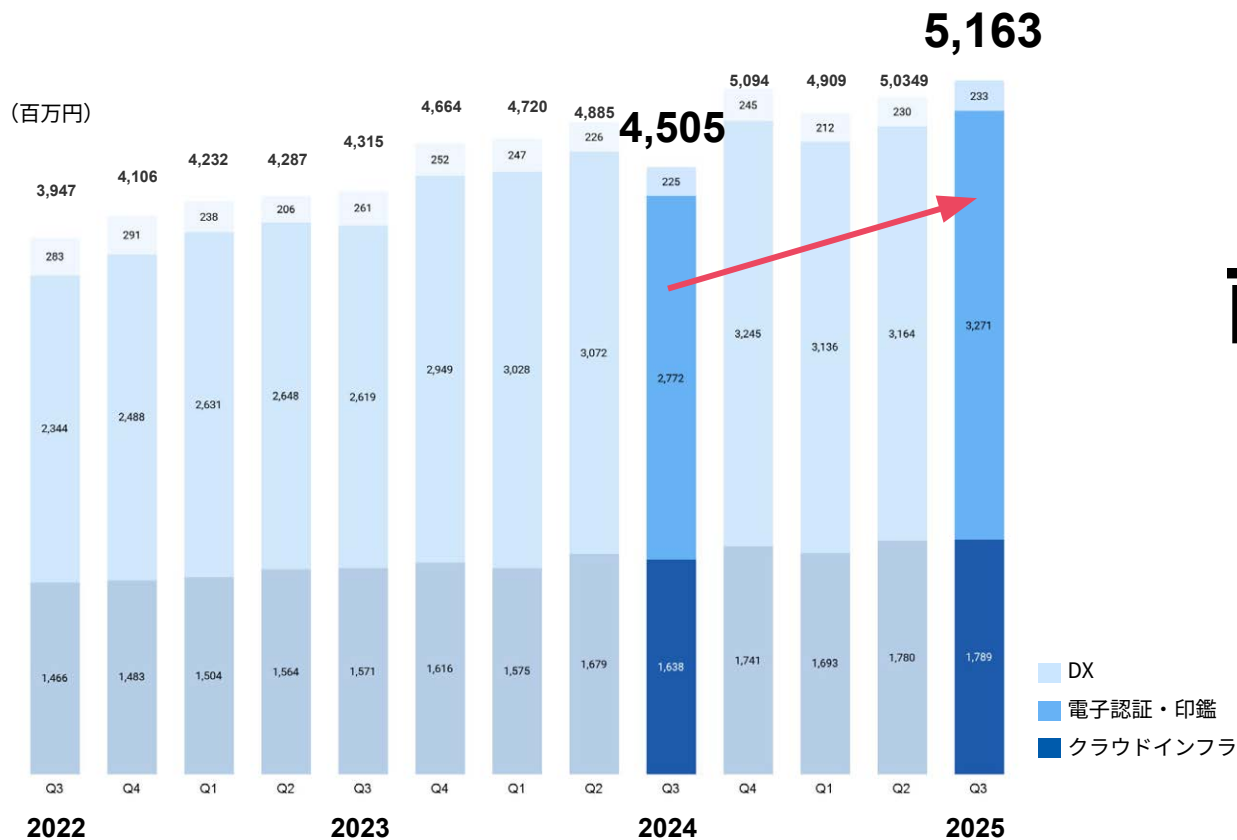
セグメント	2024年 Q3	2025年 Q3	前年同期比
電子認証・ 印鑑	8,874	9,573	+7.9%
クラウド インフラ	4,892	5,263	+7.6%
DX	698	676	△3.2%
消去又は 全社	△394	△404	—
連結計	14,071	15,108	+7.4%

営業利益

セグメント	2024年 Q3	2025年 Q3	前年同期比
電子認証・ 印鑑	760	881	+15.9%
クラウド インフラ	109	164	+49.4%
DX	△65	△82	—
消去又は 全社	10	19	—
連結計	815	983	+20.6%

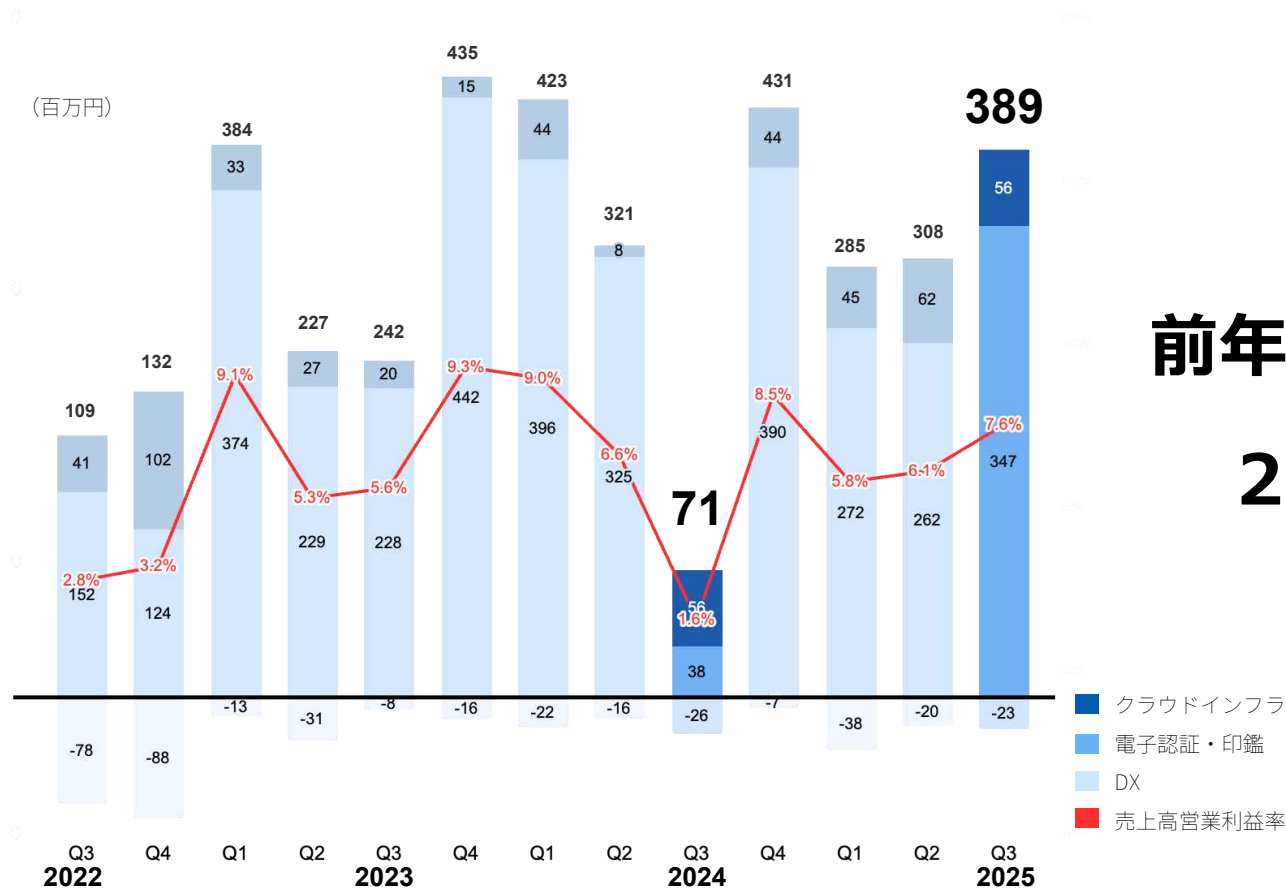
（百万円）

四半期売上高推移



前年同期比
15%増

四半期営業利益推移



前年同期比 **+449%**
 25Q2比 **+26%**



信頼に満ちた社会インフラをつくる

セキュリティTOPIC

ネットのセキュリティも



すべての人に安心な未来を

盗聴・改ざん・なりすまし防止
(暗号セキュリティ)



サイバー攻撃対策
(サイバーセキュリティ)



GMO *Flatt Security*

なりすまし監視・削除支援
(ブランドセキュリティ)

GMO BRAND SECURITY

これらの社会課題を解決

課題 1

ランサムウェア、フィッシング詐欺などの
悪意ある“なりすましメール”で情報資産が人質に

課題 2

気づかないうちに社内で“アプリ乱立”が進行
コストの重複と情報漏えいリスクが拡大する課題

課題 3

知らないうちに“カギの期限切れ”
Webサイトが突然つながらなくなるリスク

悪意ある“なりすましメール”で情報資産が人質に

この課題
を解決

ランサムウェアやフィッシング詐欺など、企業のメールを狙う脅威が拡大。
本物そっくりの“なりすましメール”による 情報漏えい・信頼失墜 が深刻化。

正規の送信元であることを“公式マーク”で証明する仕組み、それを実現するのが、**企業ロゴの信頼性を証明する VMC（企業ロゴ所有証明書）** です。

受信者がひと目で「確かな企業からのメール」と判断できるようになることで、悪意ある“なりすましメール”から**企業の信頼を守ります**。

あなたの会社、
“なりすまし”
されていませんか？



悪意ある“なりすましメール”で情報資産が人質に

この課題
を解決

BIMI/VMC（企業ロゴ付きメール/企業ロゴ所有証明書）の促進で、信頼ある社会インフラに貢献

NEW

9/16 リリース

GMO

なりすましメール
対策支援サービス

難しい専門知識不要。
メールサーバー設定、VMC
（企業ロゴ所有証明書）取得の
代行サービスをリリース。

NEW

10/29 リリース

GlobalSign.
by **GMO**

VMC（企業ロゴ所有証明書）
byGMO
政府機関・自治体向け
特化プラン



自治体のロゴを証明し、地域
の安全を守りながら、デジタ
ル促進に貢献。
GMOブランドセキュリティ社
が販売。

NEW

9/1 リリース

GMO INTERNET GROUP

なりすまし・フィッシング対策を
視覚的に強化

BIMI / VMC

（企業ロゴ付きメール） （企業ロゴ所有証明書）



GMOインターネットグループ
で「BIMI/VMC（企業ロゴ付き
メール/企業ロゴ所有証明書）」
を導入。

コストの重複と情報漏えいリスクが拡大する課題

この課題
を解決

気づかないうちに社内で“アプリ乱立”が進行。
管理されないSaaS（クラウド型アプリケーション）利用が増え、
コストの最適化とセキュリティ統制が困難に。

① 管理の属人化

アカウント管理が特定担当者に依存し、入退社時の設定漏れが発生しやすい環境。

② コストの不透明化

利用状況の把握不足により、重複契約や未利用アカウントへの支出が発生。

③ セキュリティリスク

未承認SaaS（シャドーIT）の利用や放置アカウントにより、外部からの侵入や情報漏えいの危険が潜在。

NEW

8/1 リリース

GMOトラスト・ログイン



「GMOトラストログイン」は、SaaS利用状況の可視化とアカウント運用自動化により、業務負担の大幅軽減、セキュリティ強化、コスト最適化を一つの仕組みで同時に実現

Webサイトが突然つながらなくなるリスク

この課題
を解決

セキュリティ強化の観点から、**SSLサーバ証明書の有効期間**が2026年から2029年にかけて段階的に、47日まで短縮されることがCA/Bフォーラム（ウェブ認証の国際標準を策定する団体）において可決。

有効期間47日になった場合

SSLサブスクリプションプラン

契約期間内なら、更新のために証明書を何度発行しても同一料金



従来のプラン

更新時に都度手続きが発生

NEW

8/5 リリース



SSLサーバ証明書に登録している複数のドメイン名を、追加・変更・削除できる機能を、同一料金で無制限に利用可能。

（※SAN機能による柔軟な証明書管理）



価値成長を生む、当社の強み

デジタル社会の 信頼と安全を支える インフラ企業

GMO グローバルサイン・HD
● GlobalSign

私たちは、電子認証を中心に、クラウド、レンタルサーバー、DX、電子印鑑など、社会のデジタル化を下支えするサービスを展開しています。

“見えないところで信頼を設計する”技術力を強みに、安全で透明性のあるインターネット社会の実現に貢献します。

価値成長を生む、当社の強み

1. 国内シェアNo.1、世界が信頼する**電子認証局**を運営
2. 持続的成長を支える22の**岩盤ストック収益**
3. 230超の国と地域で導入実績、**グローバル基盤**

価値成長を生む、当社の強み | 1. 信頼の電子認証局

国内
シェア

No. 1 ※1

日本発、世界が信頼する電子認証局 ※2

※1 電子署名法に基づく電子署名およびタイムスタンプが付与された契約の累計送信件数（タイムスタンプのみの契約を除く。主な立会人型電子署名サービス対象）GMOリサーチ&AI株式会社調べ（2024年12月） ※2 世界シェア4位。英Netcraft社「Netcraft SSL Survey」調べ 有償発行枚数

運用実績 29 年

ウェブブラウザからの高い信頼

GlobalSign
ルート証明書
搭載率

99.8%  <https://www>

Google

Microsoft

Mozilla |3

GlobalSignの証明書を使用した電子署名数

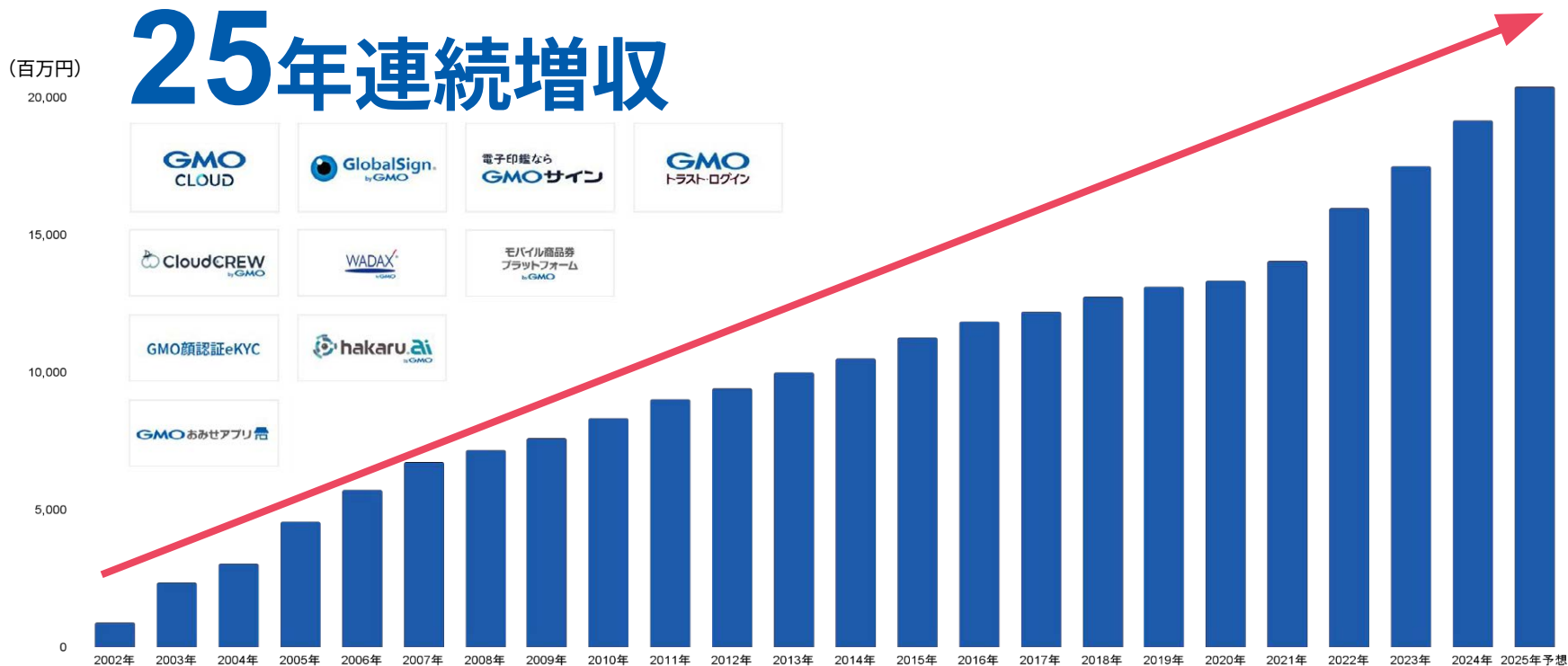
500 月間
万

電子印鑑なら
GMOサイン

docusign
Bringing Agreements to Life

Adobe Acrobat Sign

持続的成長を支える22のストック型事業



健全な財務体質と、
成長を支える
キャッシュ創出力

自己資本比率

52.5%

ネットキャッシュ

54億円

営業キャッシュフロー

27億円

営業キャッシュフローマージン
14.5%

自己資本比率 : 「純資産÷総資本」企業の財務的健全性や安全性を示す指標。

ネットキャッシュ : 「現金・預金」から「有利子負債」を差し引いた額。企業の金融的余裕や支払い能力を示す指標。

営業キャッシュフロー : 営業活動により得た収支を指し、本業の収益性を示す指標。

※2024年12月末現在



230を超える 国と地域で サービス導入実績

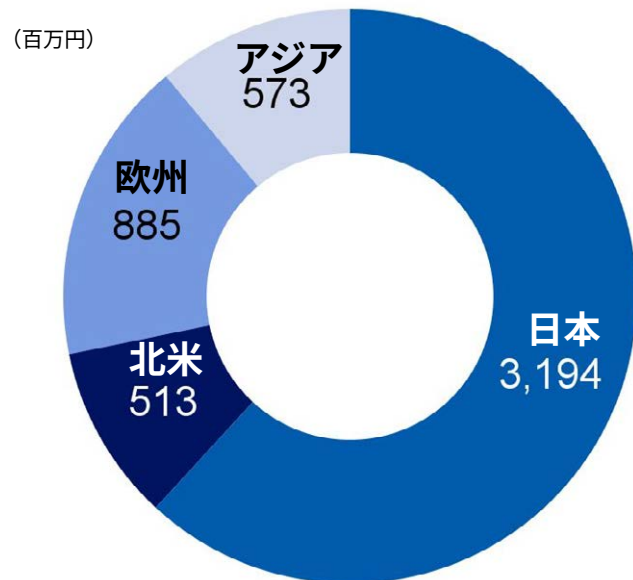


価値成長を生む、当社の強み | 3. グローバル展開

グローバル基盤を活かし、さらなる成長ステージへ

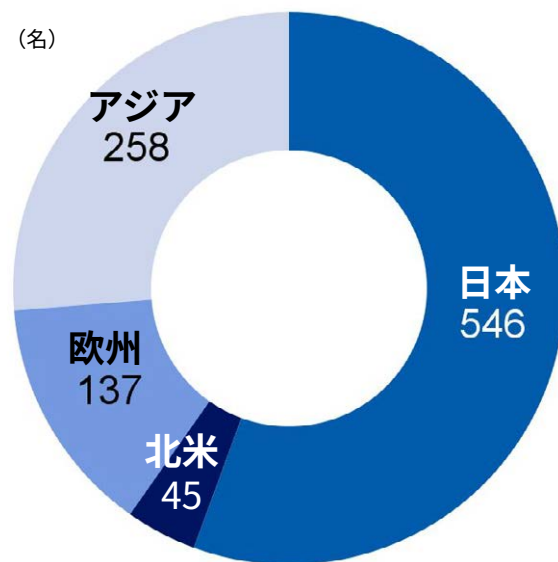
売上高

海外比率：38.2% (1,971百万円)



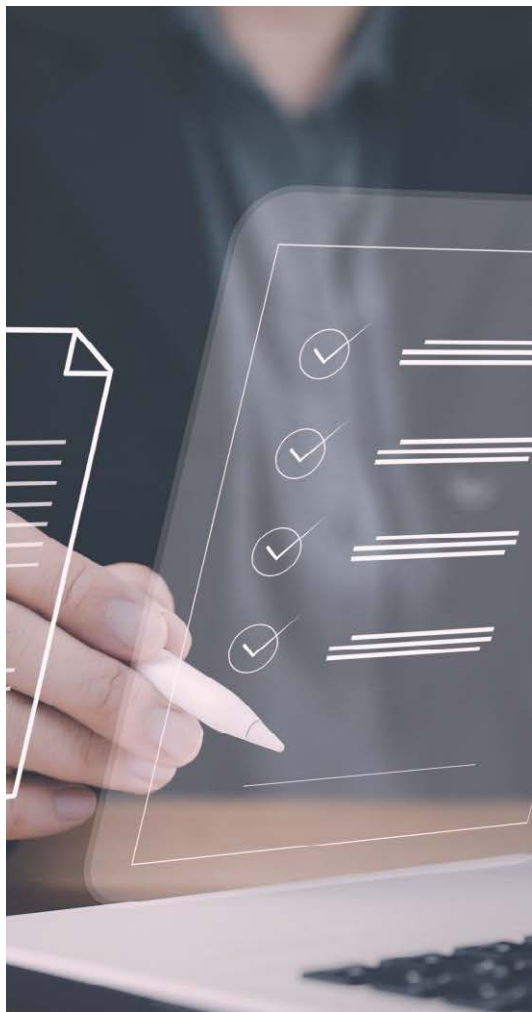
パートナー(従業員)数

海外比率：44.4% (436名)





事業概況



電子認証で通信・取引をまもる

電子認証・印鑑事業

電子認証・印鑑事業 2025年Q3 四半期サマリー



- 欧州、北米、中国の受注増加により売上増加
- 国内大型案件獲得により売上増加

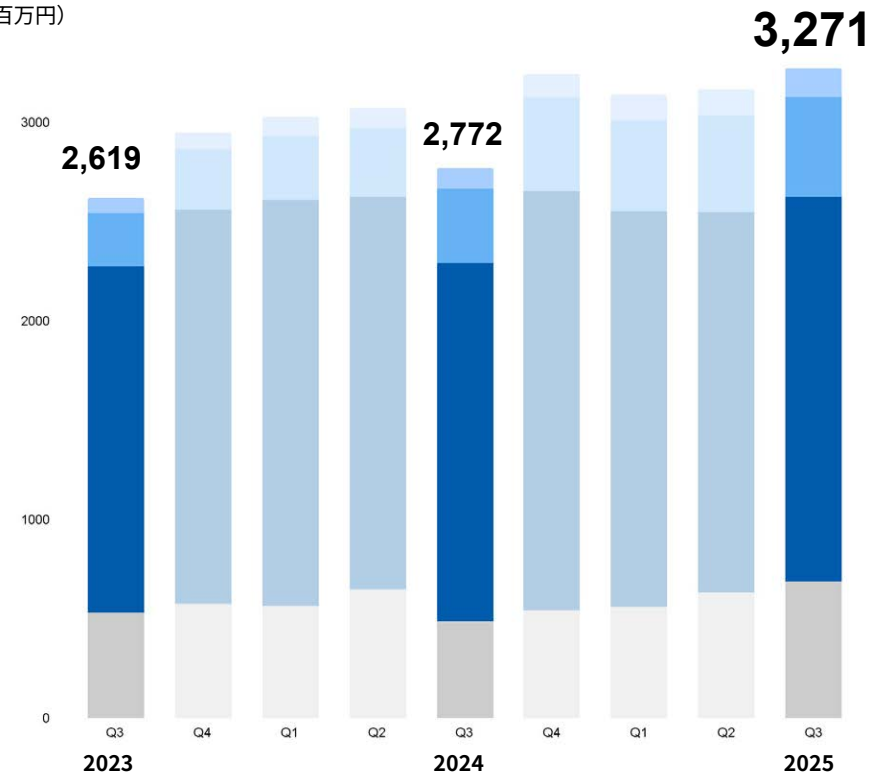


- 代理店戦略強化により大手顧客獲得が加速し成長を牽引
- 機能開発の拡充により単価向上に寄与



- 売上高・ARRともに **30%超の高成長** により営業黒字を継続
- **ウェブ経由の新規獲得拡大** により成長を牽引

商材別四半期売上高推移



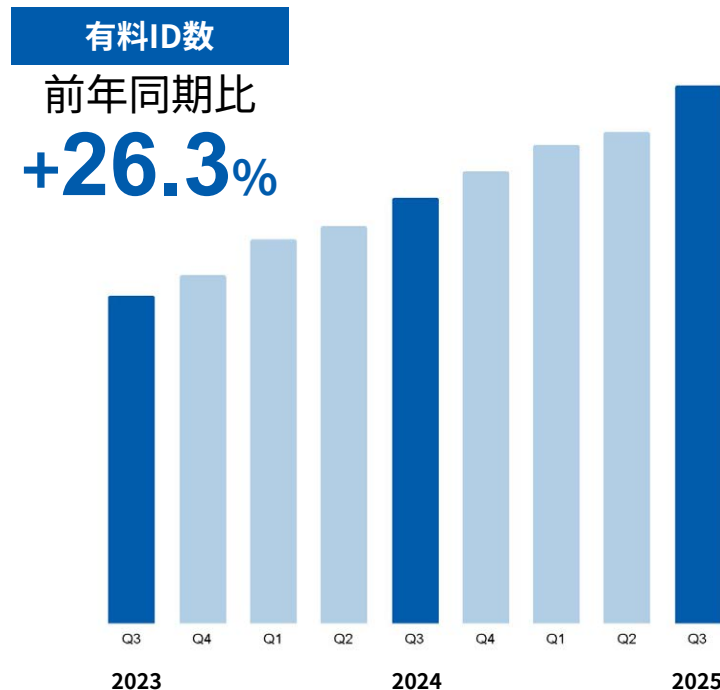
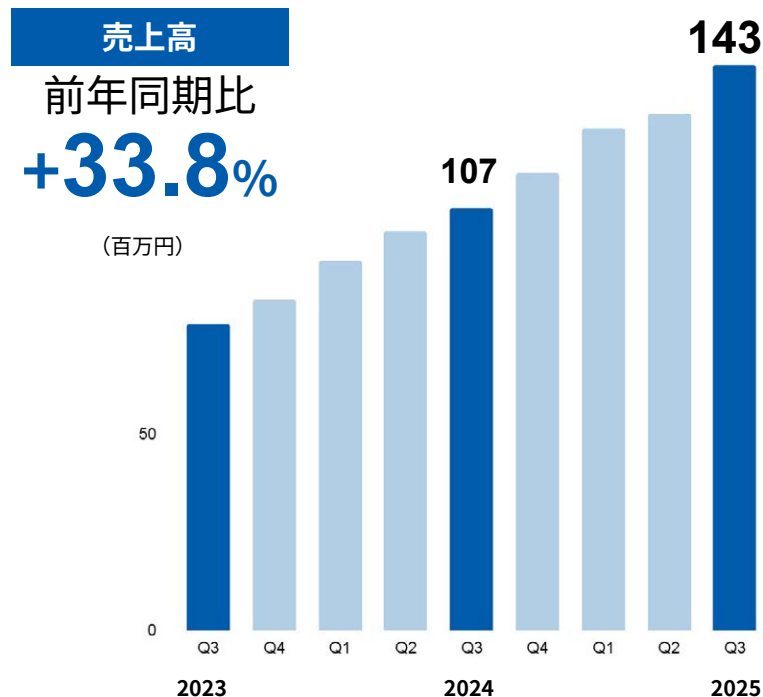
電子認証・印鑑事業	32億7,100万円 (対前年同期比 +4億9,900万円+18.0%)
SSLサーバ証明書	19億3,400万円 (対前年同期比 +1億3,400万円 +7.5%)
GMOトラスト・ログイン (ログイン認証強化サービス)	対前年同期比 +33.8%
電子印鑑GMOサイン (電子契約サービス)	対前年同期比 +33.9%

- GMOトラスト・ログイン
- GMOサイン
- その他※
- SSLサーバ証明書

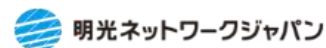
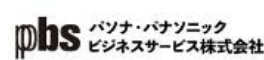
※ 電子署名サービス（電子印鑑ソリューションDSS）、クライアント証明書等の売上高

四半期売上高・有料ID数推移

- 組織体制強化により、大手顧客の獲得が増加し高成長率を維持

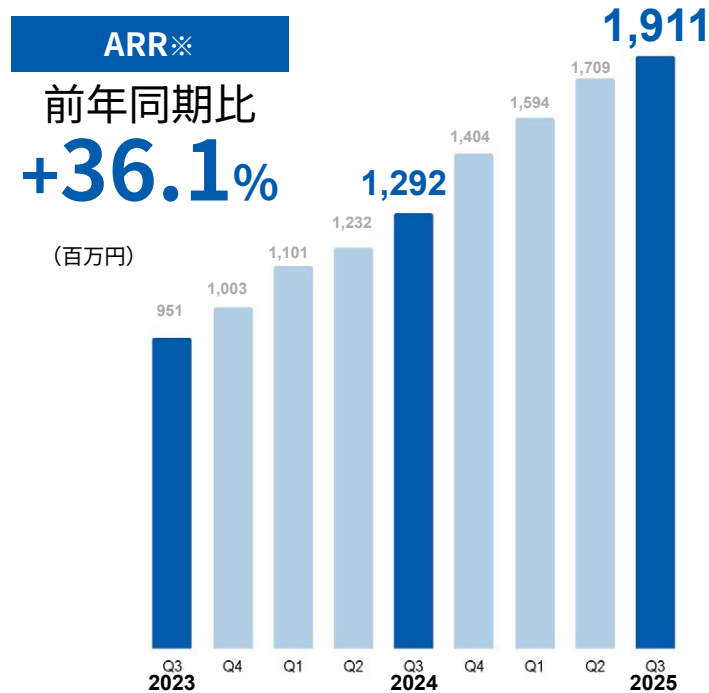
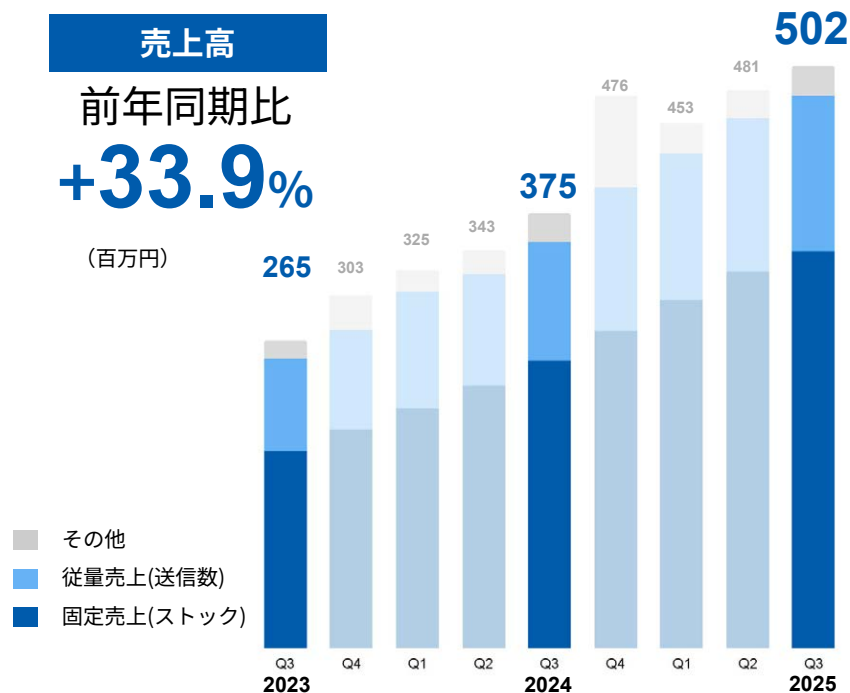


契約企業（一部抜粋）



四半期売上高・ARR推移

- 固定売上が従量売上を上回っているが、送信数は利用開始3年目以降急増傾向
そのため従量売上の増加率は今後加速する見込み



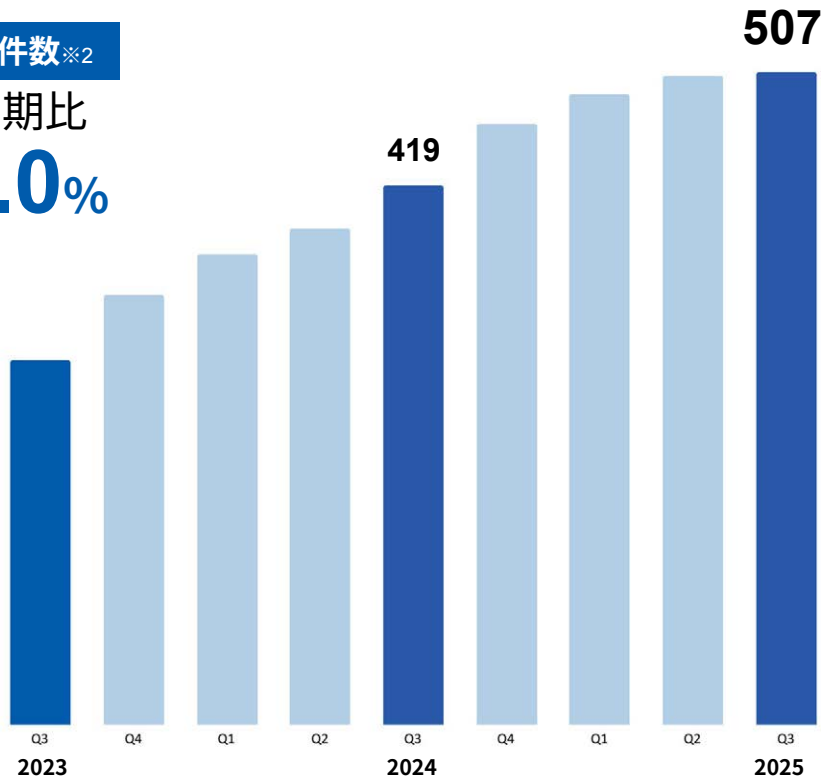
※ Annual Recurring Revenue の略称。各四半期の平均売上（一時収益を含まない）を12倍して算出。

契約送信件数推移

契約送信件数※2

前年同期比
+21.0%

(万件)



国内上場企業の
約75%が
利用中

累計 **5,000** 万件 送信達成

契約
送信件数 **No.1**

※ 電子署名法に基づく電子署名およびタイムスタンプが付与された契約の累計送信件数（タイムスタンプのみの契約を除く。主な立会人型電子署名サービスが対象）GMOリサーチ&AI株式会社調べ（2024年12月）

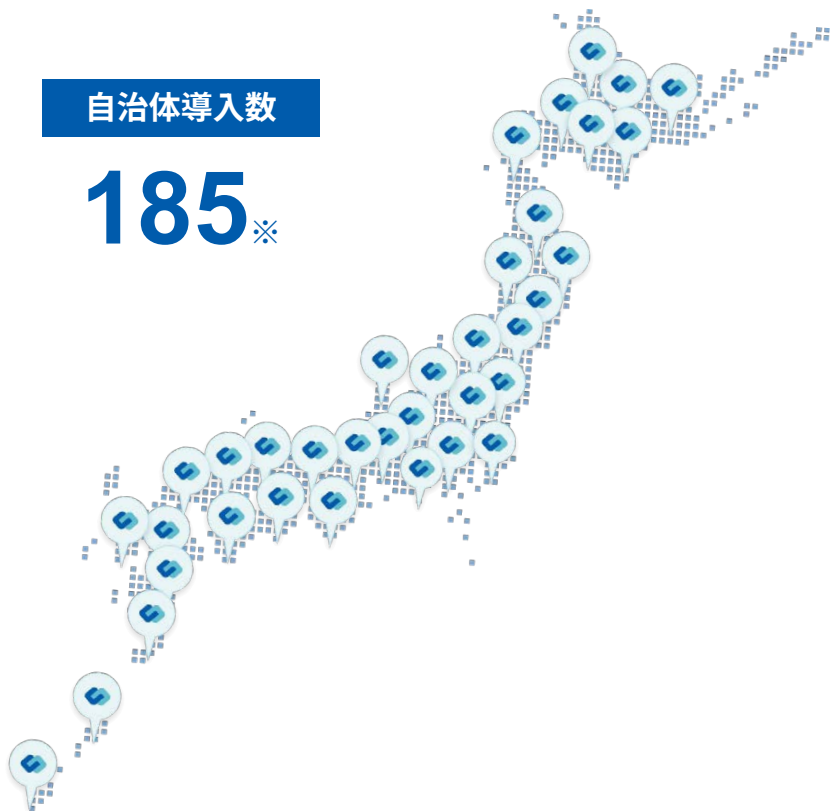
※2 四半期毎の契約送信件数を集計。2025年第1四半期における大量のテスト送信（無料）を除外して集計。

※3 2025年5月末時点「GMOサイン」利用企業数2,984社と2025年6月11日時点日本証券取引所の公式サイトで公表中の上場企業数3,953社から算出

電子公印とセキュリティ認証で自治体導入数でも**No.1**を目指す

自治体導入数

185※



導入自治体（一部抜粋）

東京都	北海道	大阪府	群馬県	神奈川県
静岡県	滋賀県	山口県	熊本県	大分県

取得済認証一覧

- ISO/IEC27001（情報セキュリティ）
- ISO/IEC27017（クラウドサービスセキュリティ）
- ISMAP登録
- SOC2 Type2保証報告書受領
- JIIMA認証

LGWAN（総合行政ネットワーク）対応

※ 2025年10月1日時点で「電子印鑑GMOサイン」または「GMOサイン電子公印」を有償契約している公共団体

契約企業（一部抜粋）

MIZUHO みずほ銀行

大和証券
Daiwa Securities

MUFG 三菱UFJ銀行

よろこびがつながる世界へ
KIRIN

BMW GROUP
BMW MINI

LINEヤフー

kikkoman

Menicon

横浜銀行

東急リバブル

ORIX オリックス生命

MIZUNO

TIPNESS フィットネスクラブ
ティップネス

in 鹿島
KAJIMA CORPORATION

ヤマト運輸

Francfranc

UNITED ARROWS LTD.

「心躍る」を
解き放つ **HIS**

PASONA

G
移動で人を幸せに。

毎日コムネット

OPEN HOUSE

NEDO

三井住友トラスト不動産

DAISO
ダイソー

CURRY HOUSE
CoCo壱番屋

MISAWA ミサワホーム

KEIO 京王電鉄

CAINZ

YAMADA HOMES

YKK ap

H₂O RETAILING

2025年11月よりプラン改定を実施

現在のプラン

お試しフリープラン

月額基本料金 **0** 円

契約印 & 実印プラン
(立会人型 & 当事者型)

月額基本料金 **8,800** 円



変更なし

新プラン

お試しフリー

GMOサインの
お試し利用に。

基本料金・送信料
0 円

ライト

単一部門向けプラン

年間契約

8,800 円/月

単月契約

9,500 円/月

スタンダード

複数部門向け
標準プラン

年間契約

24,000 円/月

単月契約

26,000 円/月

ビジネス

内部統制・セキュリ
ティ強化プラン

お問い合わせ
ください

エンタープライズ

グループ企業利用
向けプラン

お問い合わせ
ください

「電子印鑑GMOサイン」
は2025年11月に10周年。

今後もより一層サービスの
価値を高め、お客さま
ニーズにお応えするため、
プラン改定を実施。

CS業務のAI化による営業リソース強化

カスタマーサポート業務のAI化を推進し、対応効率を大幅に向上。
今後は、創出した人員を営業活動へ再配置することで、収益機会の拡大と売上成長を加速。

AI活用でCS効率UP

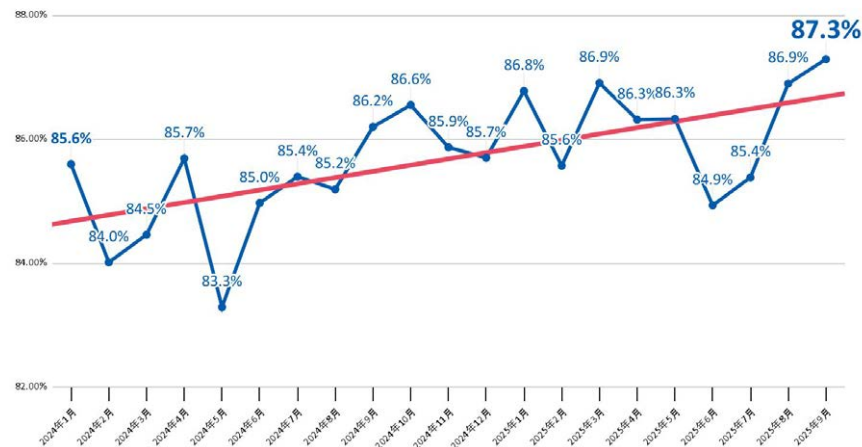
+

人員を営業にシフト

=

売上成長を実現

SSLサーバ証明書 更新率推移 ※日本国内

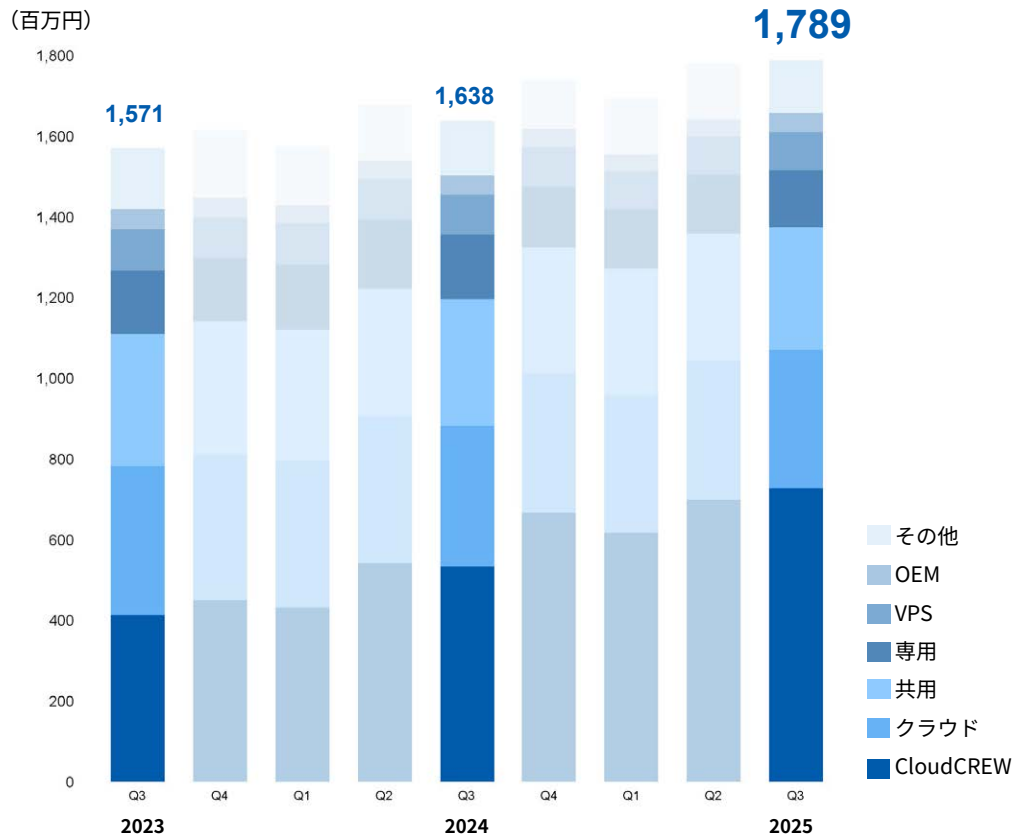




安全なクラウド基盤の提供

クラウドインフラ事業

商材別四半期売上高推移



売上高

前年同期比

+9.2%

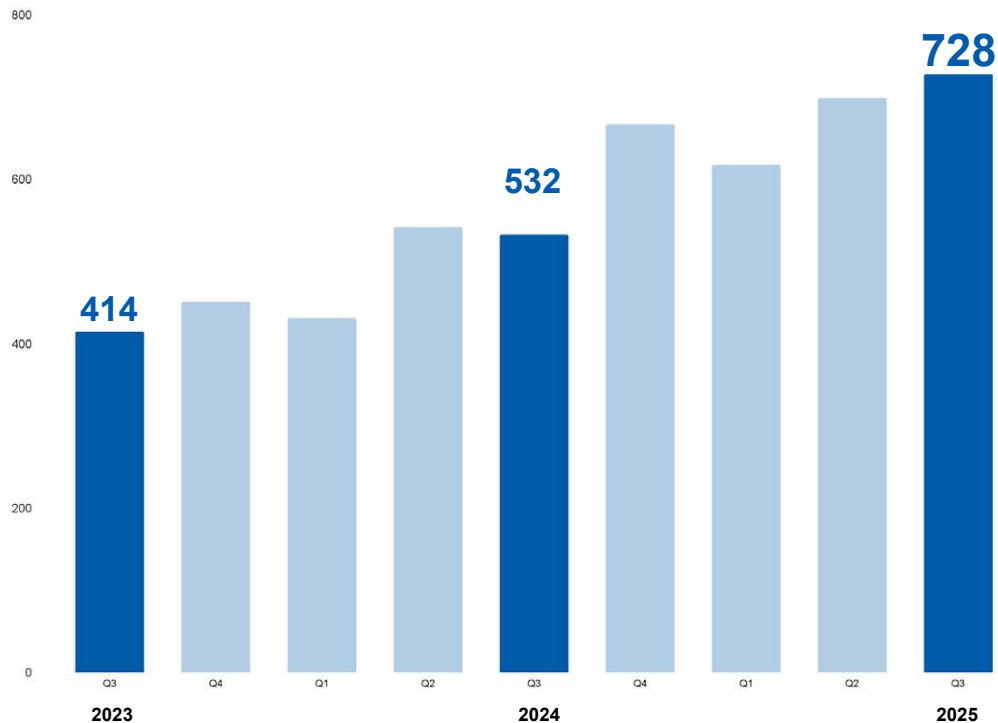
(百万円)	2024	2025	増減率
Q3	1,638	1,789	+9.2%
累計	4,892	5,263	+7.6%

- セキュリティ対策メニュー強化
- 新規リリース2商材で、さらなる事業拡大を図る

四半期売上高推移

- 引き続きCloudCREW byGMOが好調。グループシナジーにより、大型の紹介案件が増加。

(百万円)



売上高

前年同期比

+36.8%

(百万円)	2024	2025	増減率
Q3	532	728	+36.8%
累計	1506	2,043	+35.7%

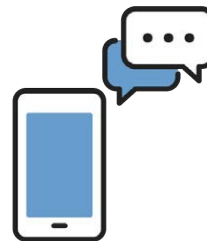
AWS、Google Cloudの豊富なセキュリティ対策



クラウドサーバー



Webアプリケーション



スマホアプリ

クラウド診断から改善施策までワンストップでサポート
GMOサイバーセキュリティ by イエラエ社と提携



- Solution Provider
- Managed Service Provider
- Public Sector Solution Provider
- Well-Architected Partner Program

- Small and Medium Business Services Competency
- Migration and Modernization Services Competency



Google Cloud
Partner

CloudCREW byGMOは、
AWS、Google Cloudの
認定パートナーです。

「セキュリティソリューション」 展開開始

需要高まるクラウド関連のセキュリティ商材を集約

GMO CLOUD

クラウド レンタルサーバー 専用サーバー マネージド セキュリティソリューション パートナー制度

セキュリティソリューション

サーバーのセキュリティに関するご相談 [☎](#)

[サービス一覧](#) [サポート](#) [☎](#)

貴社のWebサイトからメール・ID管理まで
信頼のセキュリティサービスで守ります

GMO
なりすましメール
対策支援サービス



なりすましメール対策設定から企業ロゴの表示まで、すべてワンストップで支援します。

[なりすましメール対策の詳細を見る](#)

脆弱性対応のための
設定代行サービス



サーバー設定のプロが最新のセキュリティ対策を迅速に代行！ビジネスを万全にサポートします。

[設定代行の詳細を見る](#)

GMO サイバー攻撃ネットde診断ASM
運用代行サービス



ASMで組織全体のサイバースリスクを徹底的に可視化し、リスクの発見・対処まで、まるごとお任せ。

[運用代行サービスの詳細を見る](#)

新シリーズリリース、さらなる事業拡大を図る

NEW

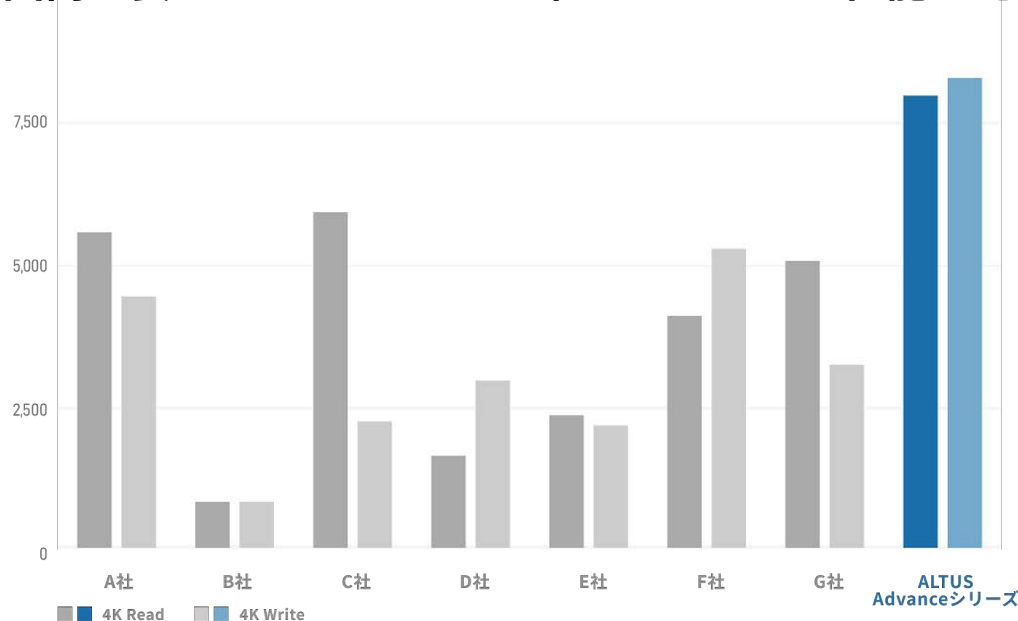
9/30リリース

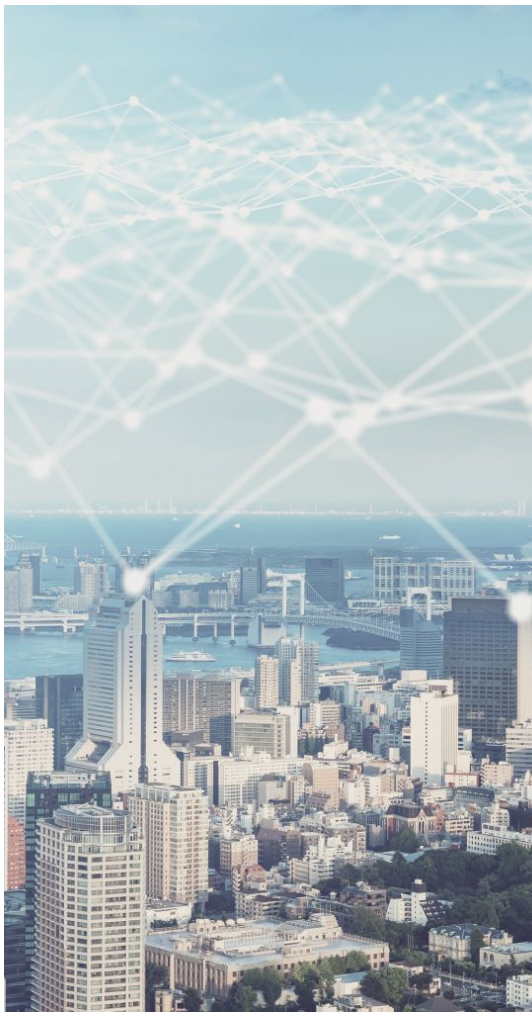
GMO CLOUD
ALTUS

アドバンス
Advanceシリーズ

トップクラスの
**超高速
ストレージ**

国内主要のIaaS型クラウド7社とストレージ性能を比較



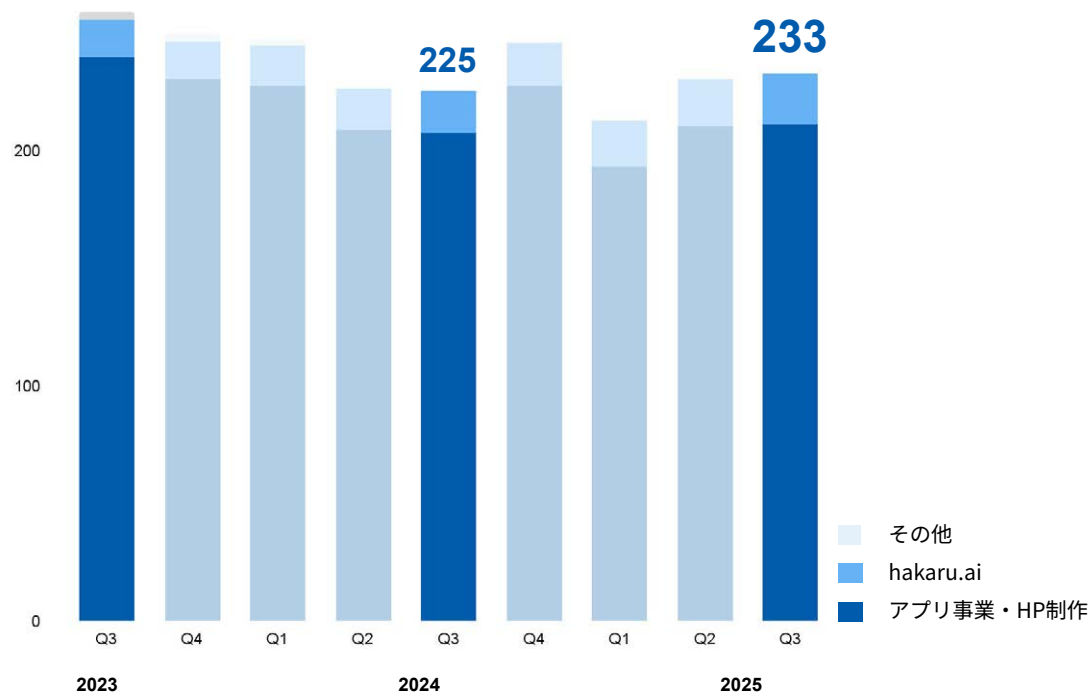


企業の課題解決を支援

D X 事業

四半期売上高推移

(百万円)



売上高

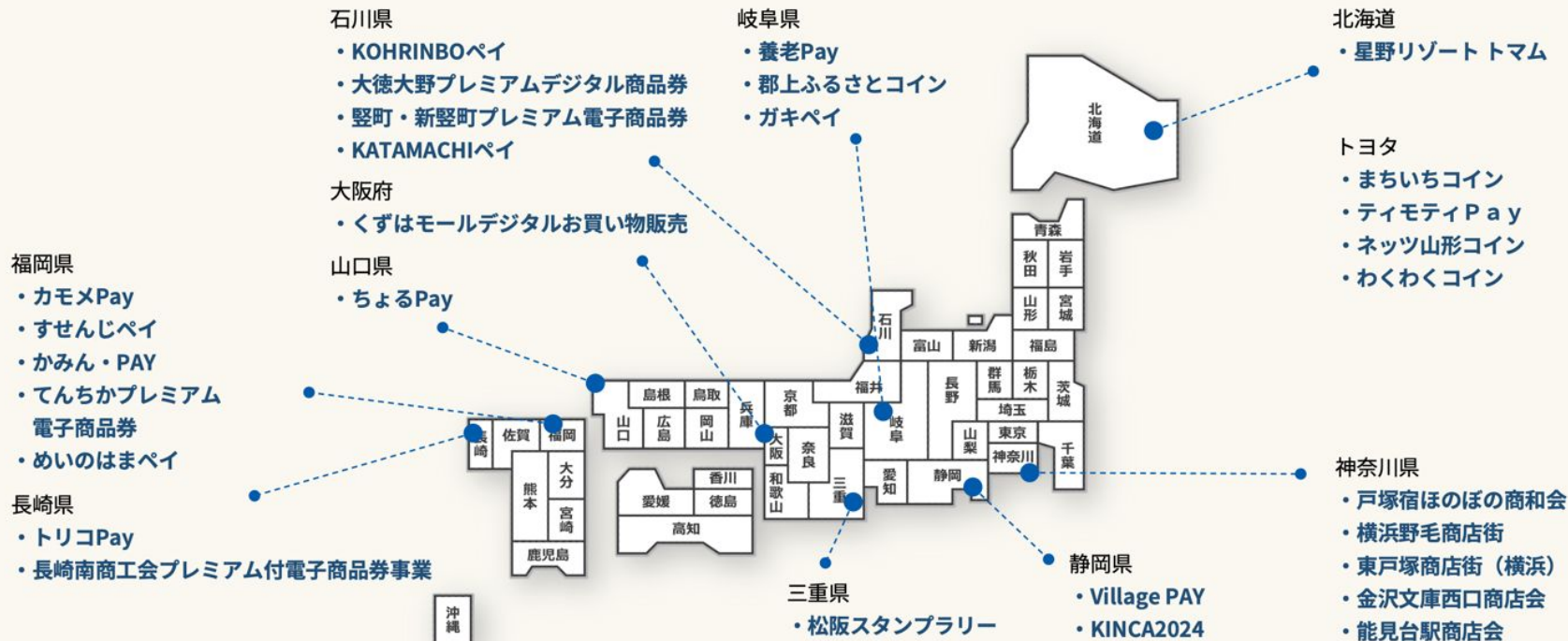
前年同期比

+3.4%

(百万円)	2024	2025	増減率
Q3	225	233	+3.4%
累計	698	676	△3.2%

- O2Oアプリ事業における自治体向け案件の進捗遅れによりQ3累計で減収
- hakaru.aiは新規顧客獲得好調により前年同期比16%増加

地方経済の活性化へ貢献、自治体導入実績



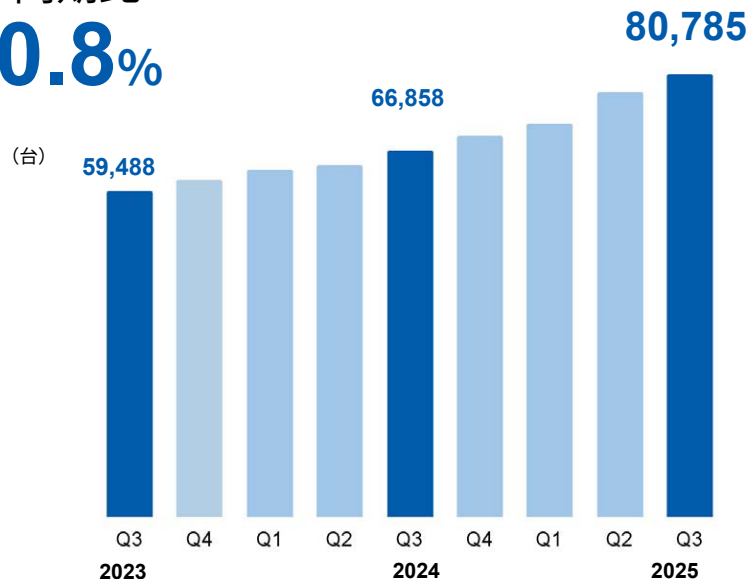
導入実績

- 高齢化による人手不足を背景に、点検現場の“身体拡張テクノロジー”活用が広がり、売上が堅調に推移。

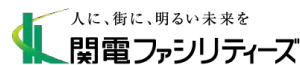
登録メーター数

前年同期比

+20.8%



契約企業（一部抜粋）










2025年Q3 決算ハイライトの振り返り

売上

海外の売上成長が電子認証事業を牽引

海外電子認証および重点商材の売上増加により、売上高は前期比**7.4%**増の**15,108**百万円

営業利益

電子認証事業の業績回復により増益

電子認証事業および重点商材の好調な業績により回復。営業利益は前期比**20.6%**増の**983**百万円

重点商材

高成長率を維持

電子印鑑GMOサイン、**33.9%**増。GMOトラスト・ログイン、**33.8%**増 ※売上対前期比

コトをITで変えていく。



参考資料

参考資料目次

- 会社概要
- 企業理念
- 事業領域（主要サービス）
- 主要サービス説明
- 連結貸借対照表
- 連結損益計算書
- 通期業績予想
- 通期業績予想 [セグメント別]
- 営業利益増減分析
- 販売管理費及び一般管理費の四半期推移
- Q3セグメント別予想対比
- GMOグローバルサイン・ホールディングスの情報発信メディア一覧
- 免責事項

GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社

証券コード	3788（東証プライム）
設立	1997年5月（当時：株式会社アイル）
事業内容	電子認証・印鑑事業（盗聴・改ざん・なりすまし防止・ログイン認証強化、電子契約） クラウドインフラ事業（クラウド・レンタルサーバー） DX事業（O2Oアプリ、IoT関連）
主要株主	GMOインターネットグループ株式会社（東証プライム：9449） ※2001年5月 GMOインターネットグループへ参加
連結企業群	15社 連結12社（国内5社、海外7社）非連結3社（2025年9月末現在）
パートナー数	983名（2025年9月末現在）非連結含 正社員数のみ

GMO グローバルサイン・HD
● GlobalSign



One GlobalSign Way

企業理念

Mission

私たちの使命

コトをITで変えていく

この地球の果てから果てまで、すべての人に私たちのサービスを届けたい。
どんなに優れたITサービスでも、一部の人にしか使えないのでは意味がありません。

もっと気軽に、もっとわかりやすく。ありとあらゆる人々に。

新たな体験価値に出会って欲しい。

それは、私たちの創業時からの変わらぬ願いです。

ITのチカラが私たちの身の回りで起こるコトを変えていく。

その変化がアタリマエになった時、どんな社会が実現するのでしょうか？

コトをITで変えていく。

便利で豊かな笑顔ある社会を広げていく。

それは未来永劫にわたる、私たちの使命です。

Value

私たちの価値観

ワクワク

Vision

私たちの目指す姿

One & 1st

One

ひとつになろう。
インターネットという広大な空の下、新たに生まれた事業は、それぞれに大きくなってきました。
これからも画期的な価値を社会に提供していきたい。
そのためにひとつという思いを共有し、シナジーを生み出せれば、もっと面白いこと、もっとすごいことが、きっとできる。

1st

失敗を恐れない。
はじめては誰でもこわい。
誰も挑んだことがないところに、ワクワクがある。
誰もやったことのないコト見慣れたものの中にある誰も気づいていないコトこれまでも、これからも、
私たちは意欲的に「はじめて」を追求め、日本初、世界初を生み出していきます。

事業領域（主要サービス）

セキュリティでインターネットの安全を支える

電子認証・印鑑事業

電子認証・ID管理



GMOトラスト・ログイン

電子印鑑なら
GMOサイン

クラウドインフラ事業

安全なクラウド基盤の提供



GMO CLOUD

AI・クラウド活用で
企業のDXを支援する

DX事業

より便利で簡単な
AI・クラウドサービスの提供

GMO おみせアプリ

GMO
デジタルPay



電子認証を活用したSSLサーバー証明書

電子認証とは

「誰が」「何を」したかを証明する、認証の基本技術です。

信頼できる第三者（電子認証局）が、人や組織が**本物であることを確かめ、証明書を発行**します。万が一、問題があれば、すぐに無効化もします。

当社はこの仕組みを活用し、見えない相手とも安心してつながれる「**インターネットの防犯システム**」を提供しています。

解説！

SSLサーバー証明書とは

Webサイトが“本物の会社”であることを証明し、安全な通信を保証する仕組みです。

URLが「https://」で始まり、鍵マークが表示されているのは証明書の存在によるものです。

GMOグローバルサインは、この証明書を提供する**国内No.1・世界トップ4の電子認証局**です。



インターネット通信の安全を支える3つの柱を提供

電子認証局

信頼基盤の提供

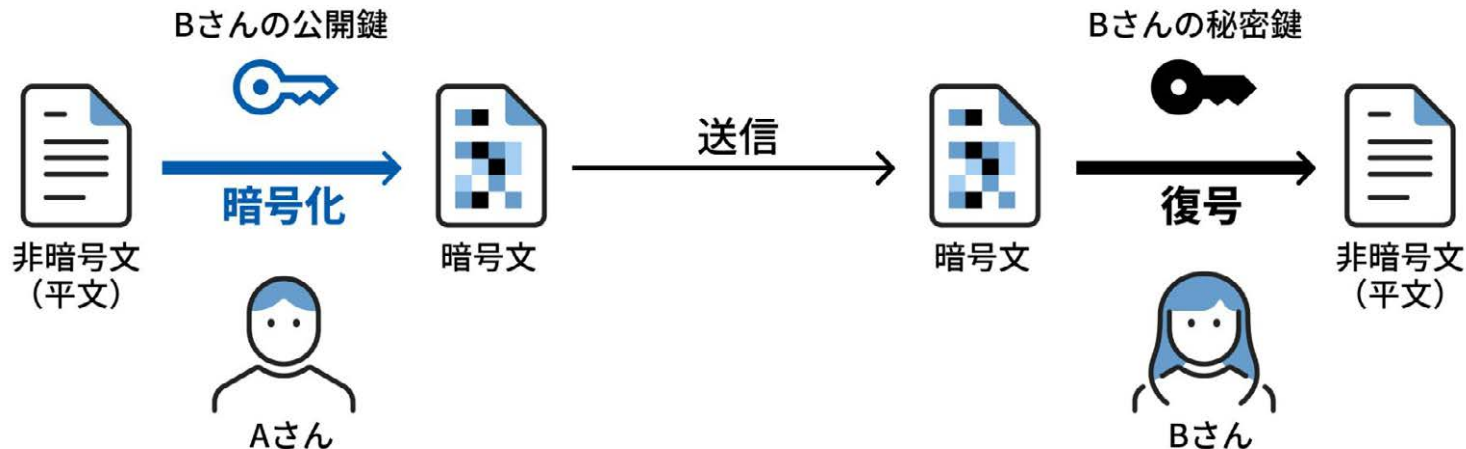
PKI（公開鍵暗号基盤）

暗号技術による
安全な通信の仕組み

SSLサーバー証明書

データを安全にやり取り
するための通信ルール

PKI(公開鍵暗号基盤) の仕組み



10,000社以上が導入、ログインIDはひとつだけ

シングルサインオン（SSO）とは

解説！

一度のログインで、複数のサービスを安全に利用できる仕組みです。

これまで個別に入力していたIDやパスワードを統一することで、利用者の利便性を高めるとともに、企業のセキュリティ管理を強化します。社員が社内外のさまざまなクラウドサービスを使ういま、業務効率化と情報漏えい防止の両面で欠かせない技術となっています。

増え続けるIDを一言管理、セキュアな業務環境を

一度のログインで複数のサービスを安全に使えるシングルサインオンサービスです。

10,000社以上の導入実績、8,500以上のアプリと連携。

ISO/IEC 27001および27017の国際認証を取得し、過去12か月の稼働率99.99%という高い安定性を実現。さらに、SSL認証局として20年以上の実績を持つGlobalSignのセキュリティ運用ノウハウを基盤としています。



GMO トラスト・ログイン

日本で最も使われている電子契約サービス

電子契約サービスとは

解説!

いままで紙にハンコで押印していた業務を電子化し、業務効率化と印紙税などのコスト削減ができるサービスです。
「だれ」が「いつ」「何に」署名をしたかの証跡を、改ざんができない形でPDF文書に書き込む技術です。この技術を活用し、契約シーンのみにしばられず、公文書交付や、卒業証明書、医療同意書などのシーンへの活用がはじまっています。

確かな署名×豊富な機能×料金比較最良

電子印鑑GMOサインは、「誰が署名したか」を第三者が証明する“確かな署名”と、利便性の高い署名を使い分けられる電子契約サービスです。

当社の電子署名技術、タイムスタンプや認証技術を自社の技術資産を活用することで、安価かつ高品質なサービスを提供しています。

社会の業務効率化と紙削減に貢献し、日本で最も使われている電子契約サービスへと成長しています。



ARR
年間成長率
35~45%

電子印鑑なら
GMOサイン

電子印鑑GMOサインが提供する信頼

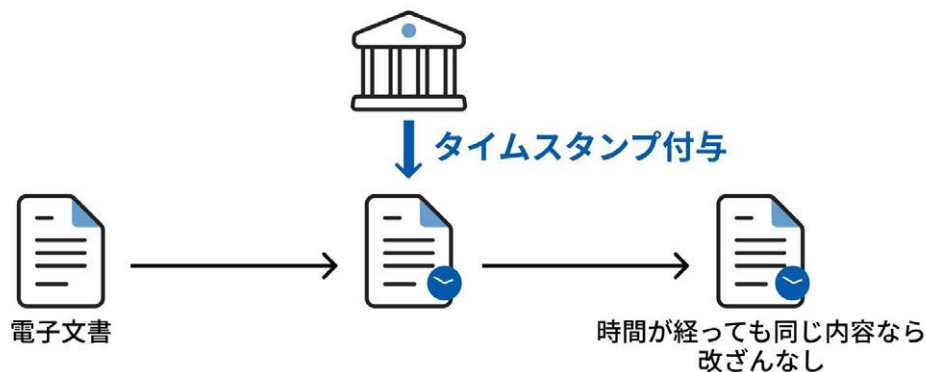
電子署名として一般的なメール認証（立会人型）に加え、実印相当の高い信頼性のある当事者型署名も提供。

非改ざん性を保証するタイムスタンプを標準提供。自社で電子認証局を運営しているからこそできる、信頼性の高い電子契約を提供しています。

電子契約の「安全性」確保



タイムスタンプの仕組み



なりすましメールを防ぐVMC（企業ロゴ所有証明書）

VMC（企業ロゴ所有証明書）とは

近年増加の一方の、**企業になりすました悪意あるフィッシング詐欺メールなどを防止**するため、メールの送り主が確かな企業からであることを証明します。

このVMCにより、メールの受信者は安心して企業からのメールを受け取ることができるようになります。

解説！

2025/9/16リリース！

なりすましメール対策支援サービス

VMCを使って、企業からのメールにロゴを表示することをBIMI（なりすましメール対策設）といいます。

このBIMI導入するためにはサーバー・DNSなどの専門的な知識が必要となります。この課題を解決すべく、インターネットインフラ運用のノウハウある当社が、**VMCの発行からロゴを表示させる設定までをワンストップで対応**するサービスを提供開始しました。



グローバルサインは、**世界で3社、国内企業唯一、VMC証明書を発行できる電子認証局**です。

高い実績と信頼性が必要となるため、新規参入は難しく、競合は限られています。

あなたの会社、
“なりすまし”
されていませんか？



さらなるセキュリティ需要にも対応

ネットのセキュリティも

GMO

すべての人に安心な未来を

診断

相談

運用

当社サーバーの他、AWS・Google Cloud
にも対応する、クラウドサーバーのセキュリ
ティマネジメントサービスをご提供

年々高まるセキュリティ需要に対応

GMO CLOUD

 **CloudCREW**
by **GMO**



• Public Sector
• Solution Provider
• Migration Services
Competency

• Public Sector Solution
Provider
• Well-Architected Partner
Program

日本初のレンタルサーバーとしてスタートし、29年
の運用実績を誇る老舗ブランド。
クラウド・レンタルサーバーを中心に、多様なニーズ
に応えるラインナップを展開し、サーバーの設定や運
用を代行するサービスも提供しています。

AWSやGoogle Cloudなど複数のクラウド環境を
対象に、運用を代行するマネージドサービスを提供。
セキュリティ対策に関するご相談にも幅広く対応し
ています。

クラウドインフラ事業が支えるウェブサイト

ご契約アカウント件数

約 **6.6** 万件



インターネットの裏で
企業の信頼を支えています。

サイト維持のあたりまえに
なくてはならない存在として、
インターネットのインフラを守
り続けています。

連結貸借対照表

単位：百万円	2024年12月末	2025年9月末	増減率
流動資産	11,948	12,179	+1.9%
（現金預金）	8,459	8,523	+0.9%
（売掛金及び契約資産）	2,647	2,585	△2.2%
固定資産	6,078	6,020	△1.0%
（ソフトウェア）	4,056	4,117	+1.5%
（投資有価証券）	302	301	△0.3%
資産合計	18,027	18,199	△1.0%
負債	8,539	8,494	△0.5%
（契約負債）	2,754	2,792	+1.4%
（借入＋リース債務）	3,016	2,927	△2.9%
純資産	9,487	9,705	+2.3%
（株主資本）	7,649	7,925	+3.6%
（その他包括利益）	1,811	1,760	△2.8%
（非支配株主持分）	26	19	△28.4%
負債・純資産合計	18,027	18,199	△1.0%

連結損益計算書

単位：百万円	2024年Q3	2025年Q3	増減率
売上高	14,071	15,108	+7.4%
売上原価	5,626	6,124	+8.8%
売上総利益	8,444	8,983	+6.4%
販売費及び一般管理費	7,629	7,999	+4.9%
(人件費)	4,377	4,557	+4.1%
(プロモーション費)	882	975	+10.5%
(減価償却費)	577	567	△1.6%
営業利益	815	983	+20.6%
(営業利益率)	5.8%	6.5%	—
経常利益	842	983	+13.6%
税金等調整前当期純利益	775	577	△25.5%
法人税等	275	244	△11.1%
親会社に帰属する当期純利益	528	703	+33.1%

通期業績予想

- 「セキュリティ」を軸として、重点商材を中心に全セグメントで成長拡大を目指す

(百万円)	2024年12月期 (実績)	2025年12月期 (予想)	2024年比
売上高	19,166	20,397	+ 6.4%
営業利益	1,246	1,434	+ 15.1%
経常利益	1,297	1,422	+ 9.6%
親会社帰属利益	854	880	+ 3.0%
1株当たり 純利益(円)	73.08	75.27	-

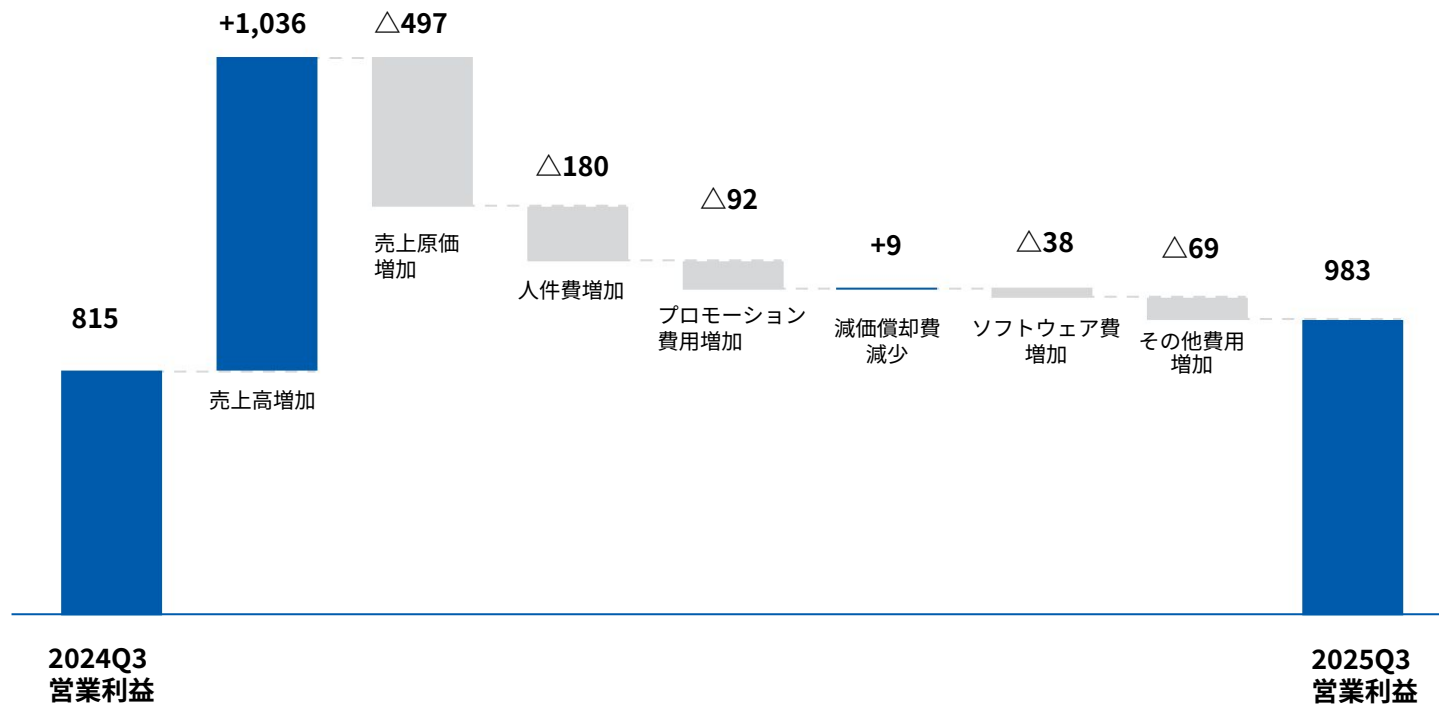
通期業績予想〔セグメント別〕

売上高			
セグメント	2024年12月期 (実績)	2025年12月期 (予想)	2024年比
電子認証・ 印鑑	12,120	13,142	+8.4%
クラウド インフラ	6,634	6,906	+4.1%
DX	944	1,054	+11.6%
消去又は 全社	△533	△704	—
連結計	19,166	20,397	+6.4%

営業利益			
セグメント	2024年12月期 (実績)	2025年12月期 (予想)	(百万円) 2024年比
電子認証・ 印鑑	1,151	1,332	+15.7%
クラウド インフラ	154	164	+6.4%
DX	△72	△56	—
消去又は 全社	13	△5	—
連結計	1,246	1,434	+15.1%

営業利益増減分析

(百万円)

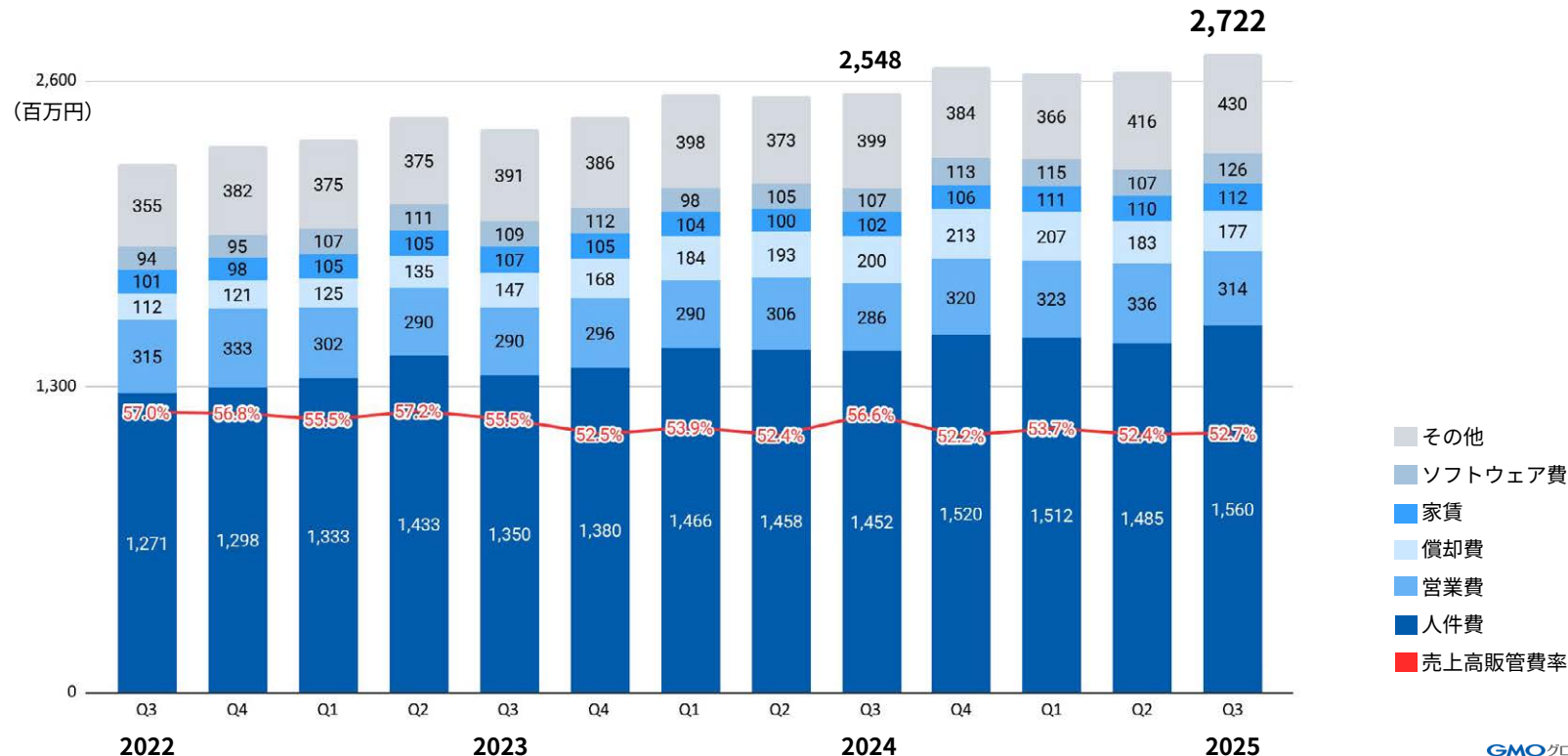


販売管理費及び一般管理費の四半期推移

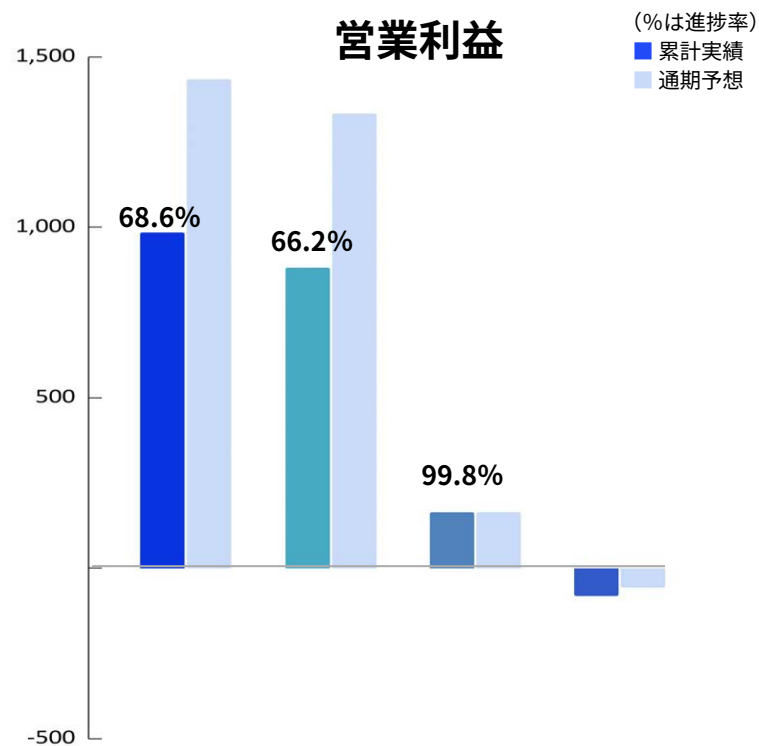
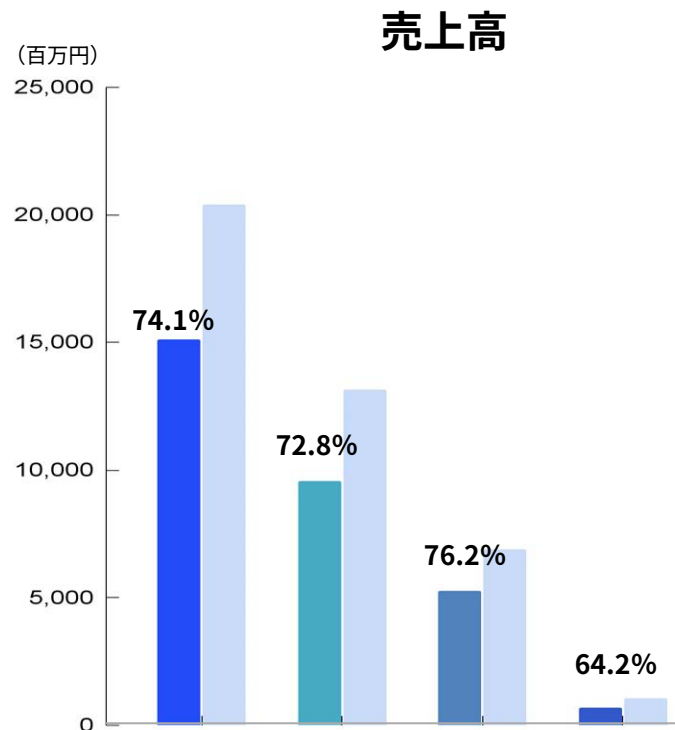
販管費：27億2,200万円（対前年同期比 +1億7,400万円 +6.9%）

└人件費：15億6,000万円（対前年同期比 +1億700万円 +7.4%）

└営業費：3億1,400万円（対前年同期比 +2,800万円 +10.1%）



Q3セグメント別予想対比



GMOグローバルサイン・ホールディングスの情報発信

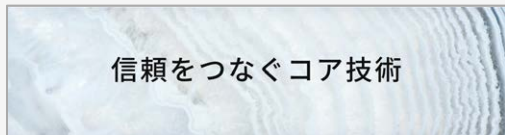
“わかりやすく”をモットーに、さまざまなコンテンツを発信しています！



数字で見る当社、あゆみ。そして未来へ。
3分でわかるGMOグローバルサイン・HD



電子認証局って何するところ？生活のあちこちで活用されている、電子証明書をご紹介します



少し難しい当社のコア技術を解説しています。また、コア技術を活用した未来の研究へと続きます。



長期ビジョン-Next2040
私たちは信頼を設計し、世界をつなぎます



公式チャンネル
@GMOGSHD_JP



公式X
@GMOGSHD_JP



公式IR note



最新IR情報をお届け！
IRメールマガジン



GMOグローバルサイン・HD
GlobalSign

コーポレートサイト



免責事項

- 本資料の内容は、作成日時点において、一般的に認識されている経済・社会等の情勢ならびに当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者がその他の目的で公開または利用することはできません。

当資料に関するお問い合わせ先

GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社 社長室

お問い合わせフォーム：<https://form.gmogshd.com/contact/ir/>